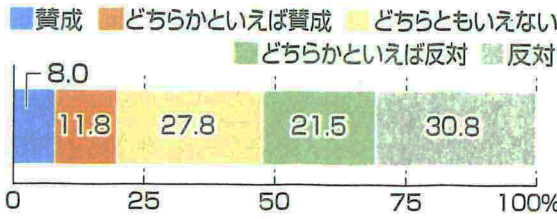


浜松新野球場 ドーム反対52%

浜松市の新野球場で2万2000人の多目的ドーム型を推進すべきだ



静岡新聞社が知事選に合
わせて初めて実施した「ボ
ートマッチ」で、県が浜松市
の遠州灘海浜公園篠原地区
に整備予定の新野球場につ
いて、2万2千人規模の多
目的ドーム型の推進に「反
対」とどちらかといえば反
対」と答えた人の合計が52
・3%に上り、賛成を大き

本社知事選ボートマッチ

く上回った。鈴木康友知事
は開放型ドームの整備に意
欲を示しているが、多くの
県民の理解を得て事業を進
められるかは不透明だ。
「ハコモノ」と呼ばれる大
規模公共事業よりも、防災
や物価高対策、子育て支援
など県民の暮らしを優先し
て進めることに賛成する意
見も計86・3%に上った。
ボートマッチは、有権者
がインターネット上で政策
に関する質問に回答する

Q ボートマッチ 有権者がイ
ンターネット上で幅広い政策
分野の質問に答えると、あらかじめ
各候補者に尋ねたアンケートとの一
致度が表示されるサービス。投票マ
ッチングとも呼ばれる。候補者の考
え方を確認でき、投票先選の参考
として活用できる。今回は20の質問
項目を設け、「賛成」「反対」など
5段階で回答してもらった。

県民「ハコモノより暮らし」

と、立候補者との考え方の
一致度が分かるサービス。
一般的な世論調査とは異な
る。選挙期間中の5月13
26日に実施し、県内在住だ
と答えた7318人分の回
答を集計した。

県は新野球場の規模と構
造について、ドーム型のほ
か、1万3千人規模の屋外
型と2万2千人規模の屋外
型の計3案を示している。
ドーム型の推進に「反対」は
30・8%、「どちらかといえ

重い政治決断

ボートマッチを監修した
法政大学院の白鳥浩教授
(現代政治分析)の話。ボ
ートマッチは電話世論調査
ではつかまえない有権
者の考えを把握できる利点
がある。アンケートからは

「反対」は21・5%、「賛成」
は8・0%、「どちらかとい
えは賛成は11・8%だっ
た。「どちらともいえない」
も27・8%に上った。

ドーム型は天候に左右さ
れず、プロ野球以外にもま
まざまなイベントを開催で
きる一方、370億円とさ
れる事業費が高額だとして
懸念の声も上がっている。
鈴木知事は5月20日の就
任記者会見で「構想を練り
直すことが必要。拙速に決
めない方がいい」と述べ、
県や市、民間企業で公園全
体の構想を協議したいとの
意向を示した。野球場を巡
っては県議会最大会派自民

県民の多くがドーム型の野
球場を望まず、ハコモノに
抵抗感を持っているという
結果がうかがえた。鈴木知
事は選挙戦で「浜松、西部
の康友から静岡県全体の康
友になる」と訴えて当選し
たが、野球場は県西部に恩
恵が大きいとされ、「オー

改革会議の中でも温度差が
あり、意見集約は難航しそ
うだ。

このほかの質問では、人
口減少対策に県が積極的に
関与すべきか尋ねたところ
「賛成」が計82・9%を占
めた。県東部・伊豆の活性
化に向けたさらなる財政支
援、能登半島地震を教訓に
した伊豆半島の防災対策の
抜本的見直しと集中投資に
関する質問も「賛成」が半
数を超えた。中央省庁など
と対峙(たいじ)した川勝
平太前知事の政治姿勢を継
続すべきかは「賛成」が計
39・5%、「反対」が計33
・1%だった。

「静岡」の観点からもド
ームを推進するかどうかは重
い政治決断となる。回答者
は比較的若い世代に偏って
いることもあり、将来の財
政逼迫(ひっぱく)などの
影響をより大きく受ける有
権者の声にしっかりと耳を
傾けていく必要がある。